

フリー・ジオアクション / 【土の役割・じゅんかんについて考える】

「いろいろな土で植物を育ててみよう」



土のすごいところは、植物を大きく育ててくれること！でも、野菜や草花を育てるときに、「いい土」「わるい土」ということがあるよね。作物の育ちがいい土、わるい土という意味だけど、その「いい土」「わるい土」とはどういう土なのかな？いろいろな場所の土を使って、どんな土が一番よく植物が育つか、実験して調べてみよう。

■準備

・用意する土：畑、校庭、林や田んぼなど、身近な場所の土。

※それぞれプランターや植木ばちに入れる量

・用意するもの：プランターあるいは植木ばち、植物の種*

*参考) 秋まきの野菜：ミニレタス、小かぶ、ハツカダイコン、小松菜など

秋まきの花：アスター、カスミソウ、ビオラなど

■進め方

① プランターや植木ばちにそれぞれの土を入れて、植物の種をまく。

※種類によっては、水をふくませた綿の上に種をまいて芽が出てから植えた方がいいものもあります。

② 水やりをして、芽が出るまで必要にあわせて新聞紙でおおう。



③ 芽が出たら、日当たりのいいところにおいて、土の表面がかわいたらたっぷり水やりをする。

④ 本葉が2～3枚出てきたら、株と株の間が10センチくらいになるよう、弱い株を間引きする。

⑤ 雑草が出てきたらとる。

⑥ どの場所の土が、作物がよく育つ「いい土」だったか、記録しよう。



ジオアクションにチャレンジしたら、記録シートを使って感想などを記録しておこう！